

平成 29（2017）年さけます来遊状況（第 6 報：1/31 現在）

3 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 1 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、5 年魚（2012 年級）は、全国、北海道、本州において 1994 年以降で 1～3 番目に少ない
- 4 年魚（2013 年級）は、本州日本海を除き、1994 年以降で最も少ない
- 3 年魚（2014 年級）は、全国、北海道、本州で前年を上回り、本州太平洋側以外では平年*1 よりも多い
- 北海道のサケの平均重量は 3.43kg で前年同期の 101%、本州のサケの平均重量は 3.02kg で前年同期の 102%
- 北海道の主要河川に回帰した 4 年魚の平均尾叉長は、前年と比べ、同程度かやや大きい

*1：平年とは、平成 6（1994）～平成 28（2016）年の平均値

・サケの年齢組成

（全国）

全国の主要な河川に回帰したサケの年齢査定をもとに、1 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚（2013 年級）が全体の 49%を占めて最も多く、5 年魚（2012 年級）及び 3 年魚（2014 年級）がそれぞれ 29%、18%でそれに続きます。4 年魚は前年同期の 78%、5 年魚は 42%と減少しています。平年同期との比較では、それぞれ 34%と 31%となっており、4、5 年魚とも 1994 年以降で最も少ない状況です。また、3 年魚は前年同期の 305%、平年同期の 112%となっており、1994 年以降では 7 番目に多くなっています（図 1）。

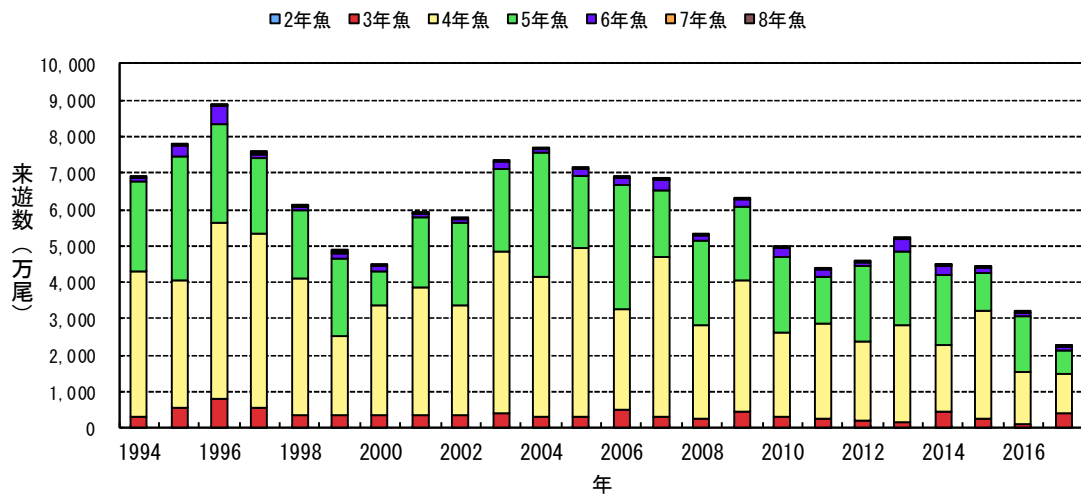


図 1. 1 月末時点のサケ年齢別来遊数（全国）.

(北海道)

4年魚(2013年級)が全体の48%を占めて最も多く、5年魚(2012年級)及び3年魚(2014年級)がそれぞれ31%、17%を占めました。4年魚は前年同期の75%、平年同期の33%、5年魚は前年同期の40%、平年同期の32%となっており、4、5年魚とも1994年以降で最も少なくなりました。また、3年魚は前年同期の358%、平年同期の133%となっており、1994年以降では4番目に多くなりました(図2)。

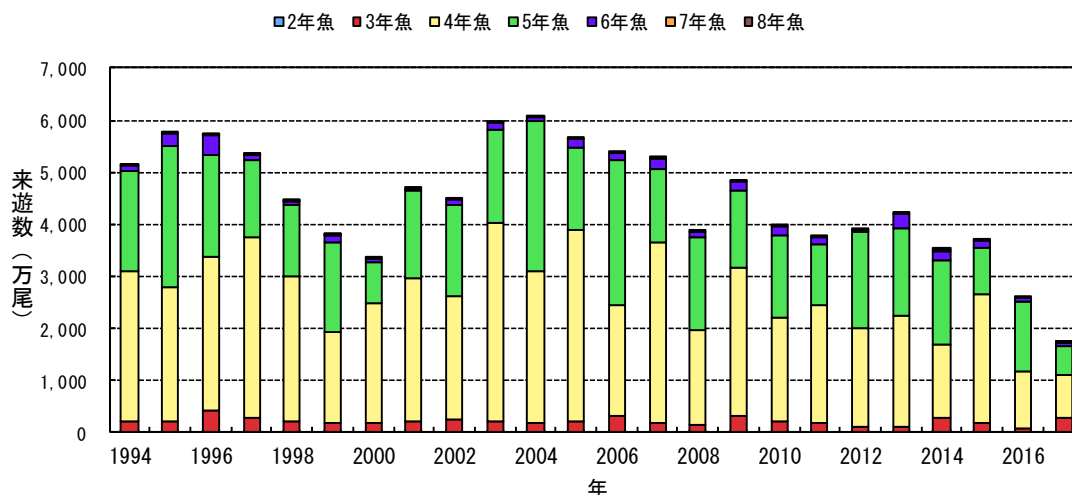


図2. 1月末時点のサケ年齢別来遊数(北海道).

年級群(生まれ年)ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2013年級は、4年魚までの来遊数(2~4年魚の来遊数)で比べた場合、1992年級以降の平均の34%と、1992年級以降では最も少なくなりました。また、5年魚である2012年級についても、5年魚までの来遊数(2~5年魚の来遊数)は1992年級以降の平均の41%となっており、1992年級以降では最も少なくなりました(図3)。

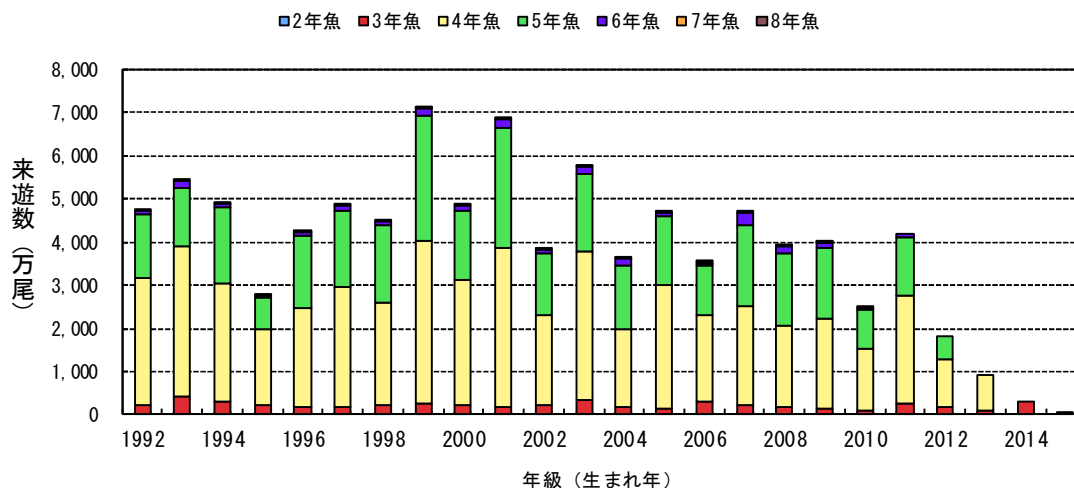


図3. 1月末時点のサケ年級群(生まれ年)別来遊数(北海道).

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚が前年同期の47%、平年同期の16%、5年魚は前年同期の30%、平年同期の19%と、4、5年魚とも1994年以降では最も少なくなりました。また、3年魚は前年同期の503%、平年同期の121%と、1994年以降では5番目に多くなりました（図4）。

日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、4年魚は前年同期の98%、平年同期の55%、5年魚は前年同期の48%、平年同期の46%と、4、5年魚とも1994年以降では最も少なくなりました。また、3年魚は前年同期の283%、平年同期の148%と、1994年以降では3番目に多くなりました（図5）。

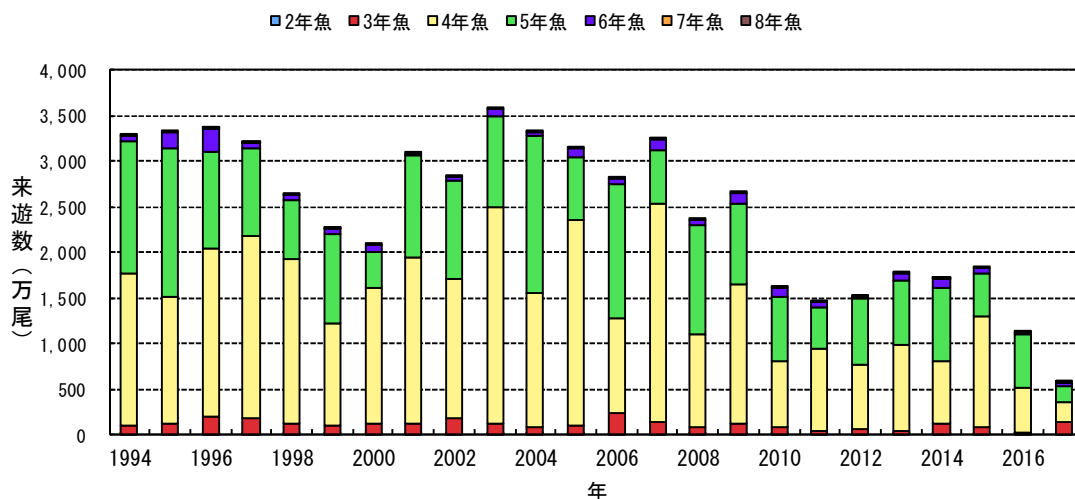


図4. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

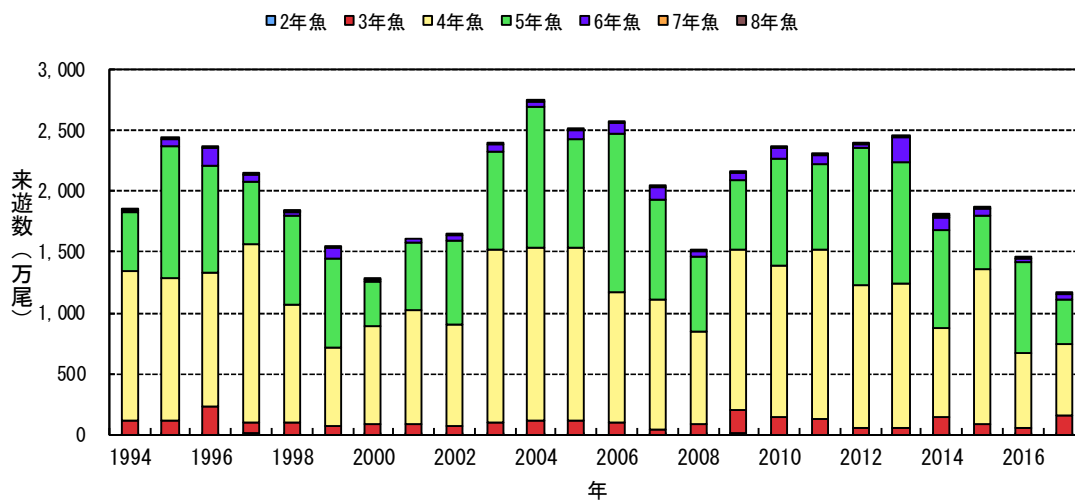


図5. 1月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

(本州)

本州太平洋側では、4年魚(2013年級)が全体の52%を占めて最も多く、次に5年魚(2012年級)が25%を占め、3年魚(2014年級)が19%と続いています。4年魚は前年同期の87%、平年同期の34%と、1994年以降では最も少なくなっています。5年魚は前年同期の59%、平年同期の28%となっており、1994年以降で2番目に少ない状況です。また、3年魚は前年同期の246%、平年同期の71%の水準となっています(図6)。

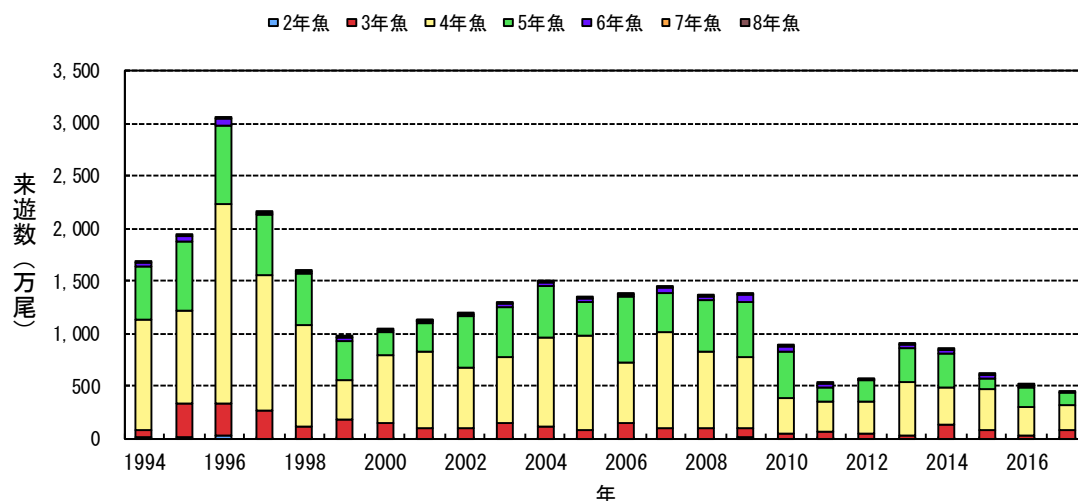


図6. 1月末時点のサケ年齢別来遊数(本州太平洋).

本州日本海側では、4年魚(2013年級)が全体の59%と最も多く、次に3年魚(2014年級)が30%を占め、5年魚(2012年級)が10%と続いています。4年魚は前年同期の105%、平年同期の81%と前年並み、3年魚は前年同期の147%、平年同期の145%と1994年以降で4番目に多く、5年魚は前年同期の55%、平年同期の41%と1994年以降で3番目に少なくなっています。

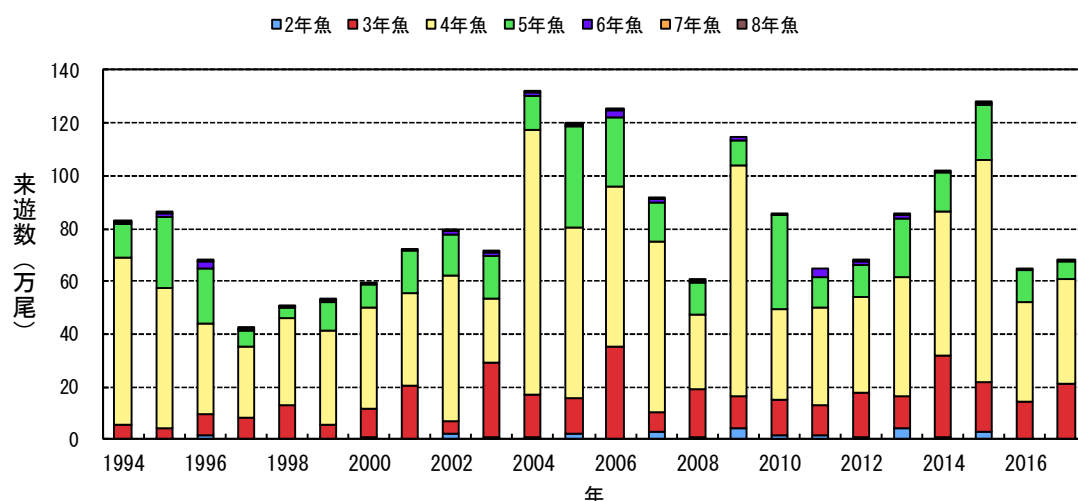


図7. 1月末時点のサケ年齢別来遊数(本州日本海).

・サケの体サイズ

北海道における1月31日現在のサケ1尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は3.43kgであり、これは前年同期（3.38kg）の101%に相当します（図8）。

また、本州の1月末現在のサケ1尾当たりの平均重量は3.02kgであり、これは前年同期（2.96kg）の102%に当たります。

北海道の主要河川に回帰したサケ4年魚の平均尾叉長は、前年に比べ、同程度かやや大きくなりました。1989～2016年の平均値との比較においても、同程度かやや大きくなっています（図9）。

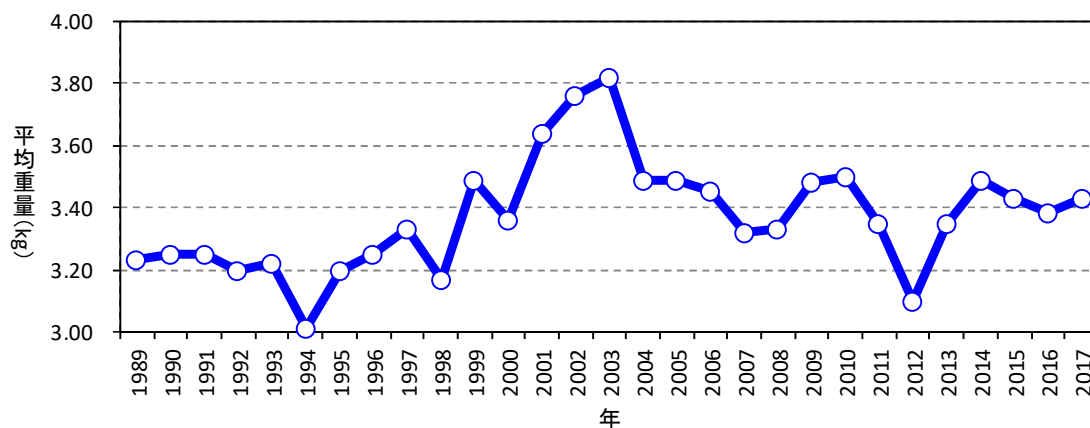


図8. 1989～2017年度のサケ平均重量（北海道）。

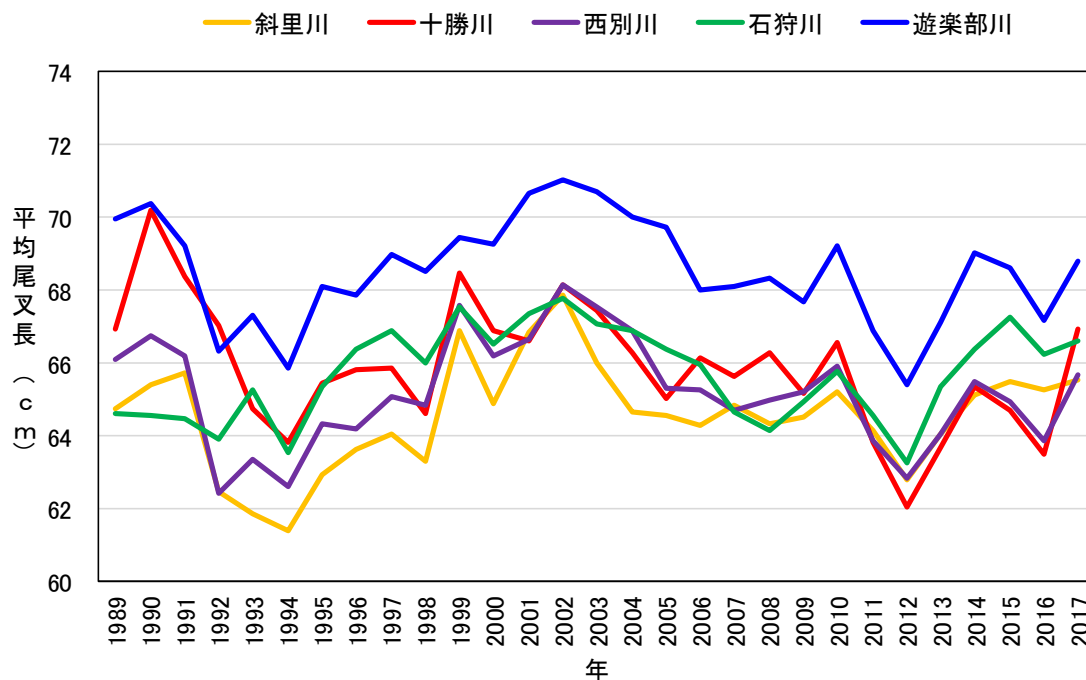


図9. 北海道の主要河川におけるサケ4年魚（雌雄込み）の平均尾叉長。